

【別紙様式 I】 令和4年度 学校評価報告書

学校名 厚木第二小学校

厚木市教育委員会の基本目標

- 1 自ら学び、鍛え、未来を拓き、夢や可能性に挑み続ける力の育成【挑戦】
- 2 自他の命や豊かな感性を大切に、多様性を認めながら共に生きていく力の育成【共生】
- 3 変化する社会に自ら進んで関わり、人々と協働してより良い社会を創る力の育成【創造】

校長名 廣瀬 修一

学校の教育目標	学校経営の方針
主体的に学ぶ力・豊かな人間性・たくましく生きる心身を持った児童の育成	自他尊重 予測困難な社会の変化に主体的に関わり 感性を豊かに働かせながら 未来を切り拓くための資質や能力を育成する
今年度の重点目標	

○児童一人一人の「分からない」を大切に授業。○自己肯定感をもち、自他尊重しながら生き生きとする学級づくり。○安心できる環境で安全に行動しようとする児童の育成。○子どもたちが「元気」で「安全」に活動できる取組。

評価項目・指標等	基本目標との関連	具体的な取組	成果と課題	次年度への具体的な改善策
校内研究のテーマに沿って、「児童に身に付けさせたい力」を明確にして授業を行われている。	1	単元について、毎時間の「めあて」「振り返り」を設けることで、「目標」をはっきりと定める。	研究協議では、児童の変容について話し合うだけでなく、これからの教科指導計画についても考えることができた。	職員で授業公開を行い、外部講師の助言等も参考にしながら、さらに分からないを大切に授業研究を深めていく。
学力における本校児童の実態(学習状況や昨年度からの課題)について把握する。	1	学力向上プロジェクトシートを活用し、計画的に学習支援を行う。	職員会議等での発信を細かく行ったことで、PDCAサイクルを意識した学習支援計画を立てることができた。	プロジェクトシートを活用して把握した児童の実態から、年間を見通した「目指す児童像」を明確にし、学習支援を進めていく。
自分を大切に、相手を認めるために、自ら進んで挨拶をする子に育てる。	2・3	全校あいさつ運動を実施	全校児童がクラスごとに、正門と西門に立ちあいさつを促すことで、あいさつの輪が確実に広がった。	引き続き次年度もあいさつ運動を、継続していく。
安心できる環境づくりをする。	2	所属感がもてる学級づくり ほっとルームの活用	落ち着いて授業に参加できる学級が多かった。一方なじめない児童もいた。別室登校をしている児童のニーズに合った、学習支援をすることができた。	より良い学級づくりについて学び取り組む。 「ほっとルーム」のより良い運営方法を、職員で考えていく。
児童が主体的に企画運営し、自他ともに楽しむ活動に取り組む。	1・3	ドリームまつり	各クラス、創意工夫ある活動ができた。さらに、自分の思いを伝えながら相手の意見を聞き、折り合いをつけて話し合いを進められるようにしていきたい。	各クラス、創意工夫ある活動の機会を増やしたい。 学級会が充実するように、学年ごとに必要な話し合いの型の整備をする。
交通安全に気を付け、安全に生活しようとする意識と態度を育成する。	2	いきいきタイムを中心とした安全教育	毎月、安全教育を行えた。chromebookを活用し、児童の安全に対する意識を高めた。また、ミニ訓練を7回行い、非常時の備えにつなげた。	今年度に引き続き、交通安全、防災に関する訓練を実施していく。
感染症対策を含め、自ら健康に生活しようとする意欲や態度が育つよう指導をする。	2・3	感染症予防対策を継続 様々な職員研修を実施	児童に感染予防のスローガンが浸透し、取組の意識づけとなった。緊急時の組織的な対応を全職員で共有化、児童の緊急時対応に備えることができた。	今後のコロナの分類の変化に合わせ、感染症対策の見直しを行う。緊急時の対応では、全職員が共通理解を図れるよう研修を繰り返し実施する。
運動に対する興味関心を持たせ、親しめるよう努力する。	3	感染症対策を取りながらの運動会 ペア学年での新体力テスト 縄跳び月間の実施	運動会や新体力テストでは、自分の今の運動能力や前年度との違いを把握し、自身の成長を意識できた。また、縄跳び月間や運動する機会を提供することができた。	新体力テストの結果を踏まえ、運動する場を増やす工夫をする。ボールの貸し出しやゴールの割り当てなど、安全な遊び場の提供を心がける。

今年度の学校関係者評価委員会からの意見

- ・学習が分からない状態に、いつでも寄り添える大人がいることが理想。特に算数のつまづきは中学進学しても影響していく。解決の方法を探りたい。
- ・先生方が地域から様々なリクエストをされても動けない状況にあるのでは。対応できる余白があるのか、プレッシャーにならないと良い。
- ・次年度のグランドデザインについて、全体がすっきりとして育てたい資質・能力や目標が明確で良い。

今年度の学校経営のまとめ ・ 次年度への改善の方針

今年度の成果と課題を踏まえ、教職員一同で確認し刷新したグランドデザインをもとに地域・保護者とも連携しながらより楽しい学校となるよう取組を進めていく。